

(~明日正午まで)

鉄道の運賃は本日も正午まで突入

日刊 動労千葉

85. 11. 28
No. 2101

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五六(公衆)〇四七二(22)七〇七

官憲導入おはば 更に戦術拡大も 当局のスト破りも弾劾し、くりあげ突入!

いよいよ決戦の火ぶたは切つておとされた。動労千葉は、11月27日、オ9回執行委員会を南催し、当局の不当・違法なスト破り行為に怒りをこめ、所定方針通り、「11月29日実施予定のストを、28日にくり上げ、28日正午から24時間(11月29日正午まで)のストライキに突入する」ことを決定した。全員文字通り火の玉と化し、うって一丸となってストライキに突入せよ。

当局のスト破り行為弾劾!

「心ある国鉄の仲間にはあらざる。手段で動労千葉ストに呼应せよ!!」

われわれは、当局のスト破り行為をこれ以上黙っているわけにはいかない。当局は、われわれの要求・申し入れに一切応えようとしないばかりか、事前に、ストに参加すればクビになる脅迫まがいの「局長文書」を全組合員宅に書留送付したうえ、動労千葉乗務員・国労乗務員・他に「業務命令」なるものを乱発して「スト破り電車」運行を強制している。更に、指導員・予備業務開発センターからの要員をも引きあげ「業務命令」でスト破りを強要している。フザケルな! 平素はわれ、過員だ、無駄だとおっぼりおしておいて、いざ追いつめられればスト破りで当局の手先きになれ、だど!

そうだ、いくら尊大ぶった当局や中曾根でも、いったん労働者がストを決断すれば、誰が社会の主人公なのか、

誰の苦勞で毎日くの生活が支えられているのか、一目瞭然ではないか。

われわれは堂々とストをうちぬく。全国の全ての国鉄の仲間は続いで起ち上れ。30万国鉄労働者のゼネストで中曾根を追いつめ、「分割・民営化」10万人首切り」を粉碎する決戦のときがきたのだ。

一万の機動隊・吾々の白腕が何だ!

われわれは堂々とストをうちぬくぞ! 勝利へむけて!

なんとこれもストを圧殺せん! 中曾根は関東管区の機動隊九千五百名をフル動員して、津田沼・千葉を中心に総武線沿線を埋めている。われわれを暴力的に職場から排除する準備さえ進めている。こんなやり方に負けたら人民には屈服・敗北・暗黒・戦争の道しか残らなくなる。こんなものに負けるものか! 本日正午から明日正午まで、全組合員一丸となって堂々とストをうちぬこう! (11月28日、朝7時)

スト支援 基金 早もく1500万円を突破! 呼びかけて 呼びかけ20局が

「動労千葉ストライキ支援基金」(高島喜久男氏を代表幹事として去る10月13日に結成された)が、今、全国からぞくぞくと寄せられている。

関西実行委からの二八〇万円にプラスして11月26日現在で、すでに、総額一、五四七万円となっている。中曾根の反動攻撃の中心としての国鉄分割・民営化10万人首切り! 国鉄労働運動解体攻撃に対し、首をかけ叩く動労千葉の決起に、全国の労働者が注目し、必ず守りぬこうという動きが急速に高まっている。

当局・権力・動労「本部」革マル・反動の一体化したスト破り攻撃を断固粉碎し、怒りのストで当局・中曾根に目にももの見せてやろう。